

プロジェクト05-1 既存宿泊施設の高付加価値化

立山黒部貫光(株)

(1) これまでの経過

【中間とりまとめ】

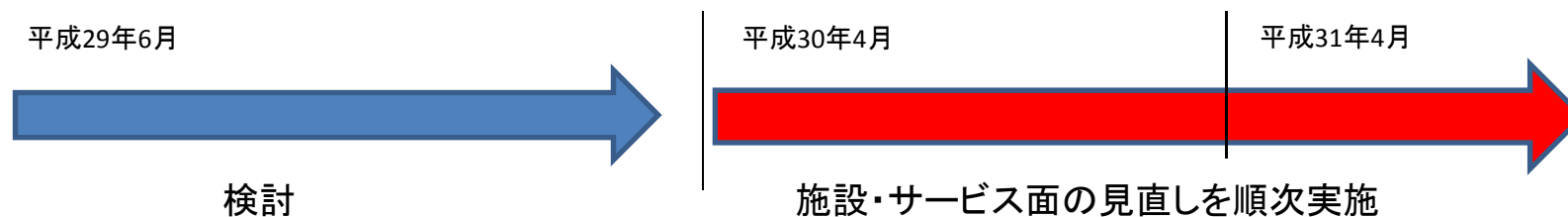
既存の宿泊施設については、事業者において施設やサービス面での高付加価値を目指す

【第1回「立山黒部」世界ブランド化推進会議 資料】

(推進体制)

立山黒部アルペンルート内に宿泊施設を有する各事業者において、施設やサービス面等での高付加価値化に取り組む

(スケジュールイメージ)



(2) 宿泊施設の高付加価値化

〈状況報告〉

◎各宿泊施設の現状や高付加価値化の方向性を整理するため、主に室堂・天狗平地区の宿泊施設にヒアリングを行った

※多様な意見を吸い上げるため、当初予定していたアンケートからヒアリングに変更した

〈ヒアリングの結果〉

◎立山黒部の山小屋は、国内の山小屋の中ではレベルが高いと言われている

- ・登山ベースとしての立地・展望の良さ
- ・温泉施設、食事の質、清潔感 他

◎山小屋の客層の変化・多様化

- ・これまでの登山・スキー客中心から、室堂を中心に観光目的の国内外の個人客化

◎登山人口の減少など、今後の経営に対する危機感がある

◎建設から年月が経過し、施設の建替や追加投資が必要な施設もある

◎弥陀ヶ原火山の影響をどうとらえるのか？(地獄谷に近い宿泊施設の危機感は大い)

●宿泊施設毎の特徴や強みによって、ターゲットとなる客層は違うのではないか

↓

●宿泊施設ごとに特徴を出して、エリア全体で共存・共栄していく

ターゲットになるお客様のニーズを把握し、その期待にこたえていくことが、立山黒部の世界ブランド化につながる「高付加価値化」ではないか？

〈スケジュール〉

- ◎～H29. 10月 ヒアリング結果のとりまとめ、高付加価値化の方向性の整理
- ◎～H30. 03月 意見交換会を実施
 - ・方向性について共有・理解を得る
 - ・多様化、高付加価値について議論
- ◎H30. 04月～ 意見交換を続けながら、宿泊施設ごとに高付加価値化を推進する

〈その他〉

◎高付加価値化(案)

- 平成30年夏～ 室堂ターミナル屋上へのオープンテラス運営
- ※ 「立山黒部」世界ブランド01にて検討中